

パワーユニット SA6D108型エンジン



低燃費

軽量コンパクト

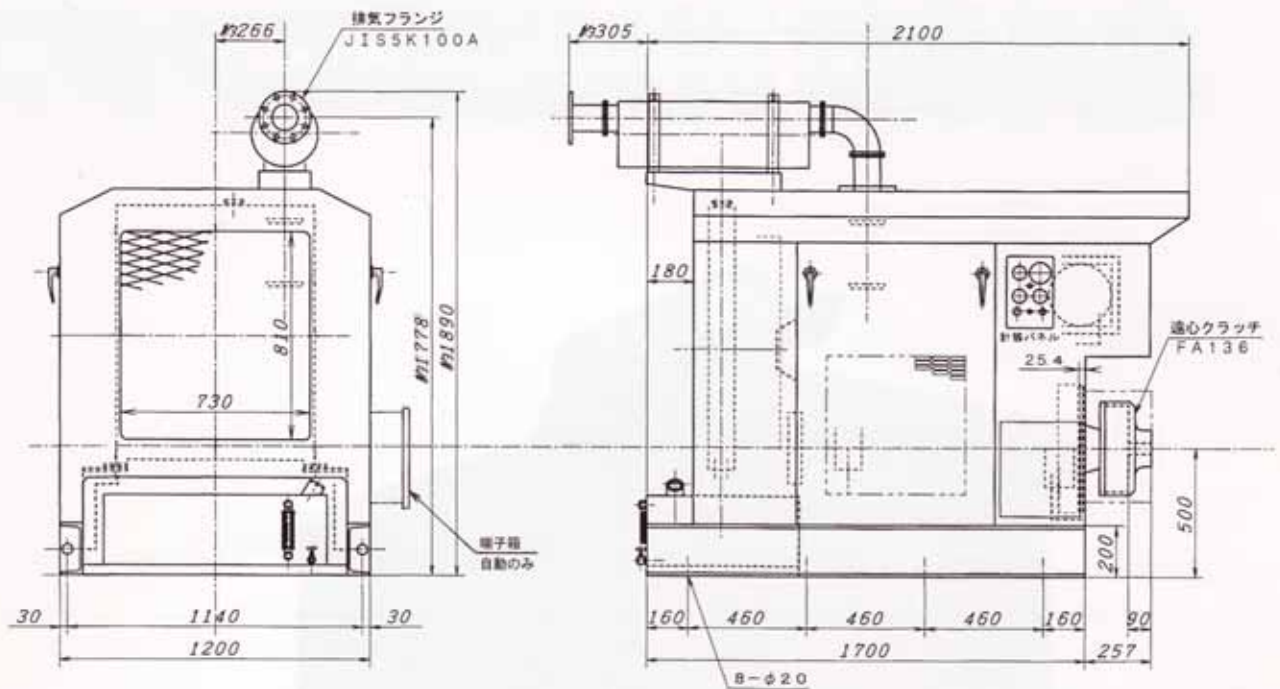
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

SA6D108 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称	SA6D108		燃料の種類	軽油
エンジンメーカー	コマツ		噴射ポンプ	ポッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-108×130		冷却方式	ラジエター
総排気量 L	7.15		冷却ファン	吐出φ800
圧縮比	16:1		冷却水ポンプ	遠心式
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水量 L(本体+ラジエター)	28
着火順序	1-5-3-6-2-4		潤滑方式	強制循環方式
非常動力装置(認定出力) (注3) KW(PS)	1500min ⁻¹	165(225)	潤滑系	ギヤポンプ方式
	1800min ⁻¹	196(267)	潤滑油 L	24
連続定格出力 KW(PS)	—	—	潤滑系	オイルクーラー型式
	1500min ⁻¹	120(163)	電気系	始動補助装置 AC V-KW
	1800min ⁻¹	142(193)	電気系	始動電動機 V-KW
	—	—	電気系	充電発電機 V-A
	—	—	電気系	無し
定格時燃料消費量 L/Kw·hr 1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps·hr)	約0.28 (約0.21)		バッテリー容量 V-AH	非常動力装置用HS型鉛バッテリー
			バッテリー容量 V-AH	24-200 (2V×12ケ)
速度変動率(整定)	5%以下		非常動力装置用鉛バッテリー	24-120 (12V×2ケ)
			遠心クラッチ型式 (FA,CA)	136
			ドラム (負荷側取付質量) (約) Kg	32.5
			燃料タンク容量 L (注2)	120
			乾燥質量 (約) Kg	1400

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット S6D125型エンジン



低燃費

軽量コンパクト

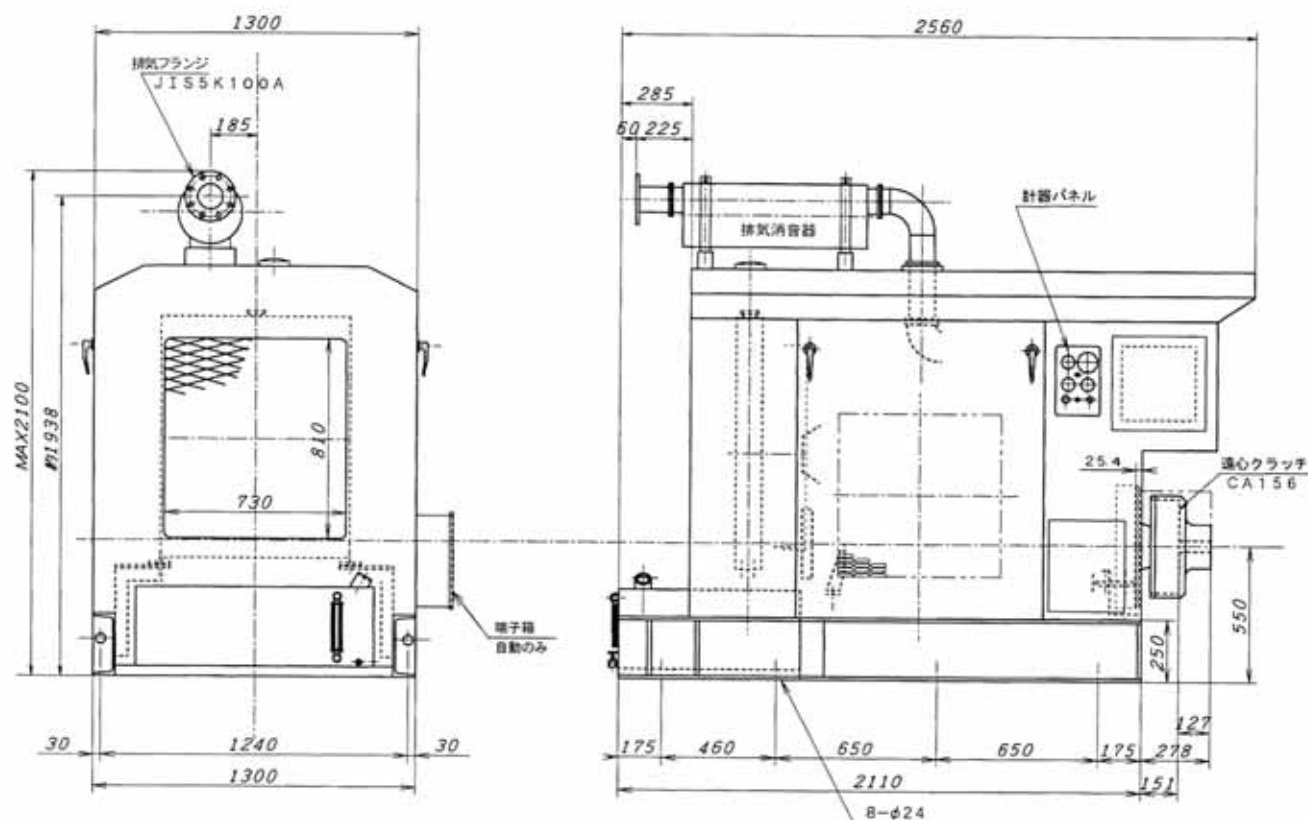
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

S6D125 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称	S6D125		燃料系統	燃料の種類	軽油
エンジンメーカー	コマツ			噴射ポンプ	ボッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		冷却系統	ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-125×150			冷却方式	ラジエター
総排気量 L	11.04		冷却ファン	吐出φ800	
圧縮比	16.8:1		冷却水ポンプ	遠心式	
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水量 L (本体+ラジエター)	35	
着火順序	1-5-3-6-2-4		潤滑方式	強制循環方式	
非常動力装置(認定出力) (注3) KW (PS)	1500min ⁻¹	216(293)	潤滑系系統	オイルポンプ形式	ギャポンプ方式
	1800min ⁻¹	247(336)	潤滑油 L	40	
連続定格出力 KW (PS)	—	—	オイルクーラー型式	水冷式	
	1500min ⁻¹	157(213)	電気系統	始動補助装置 AC V-KW	冷却水ヒーター(230-1.5)
	1800min ⁻¹	177(240)		始動電動機 V-KW	24-7.5
	—	—		充電発電機 V-A	無し
	—	—		バッテリー容量 V-AH	
定格時燃料消費量 L/Kw・hr 1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	約0.27 (約0.20)			非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-200 (2V×12ヶ)
				一般用自動車用鉛バッテリー	24-150 (12V×2ヶ)
速度変動率(整定)	5%以下			遠心クラッチ型式 (FA,CA)	156
				ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	54.7
				燃料タンク容量 L (注2)	197
				乾燥質量 (約) Kg	1900

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット SA6D125型エンジン



低燃費

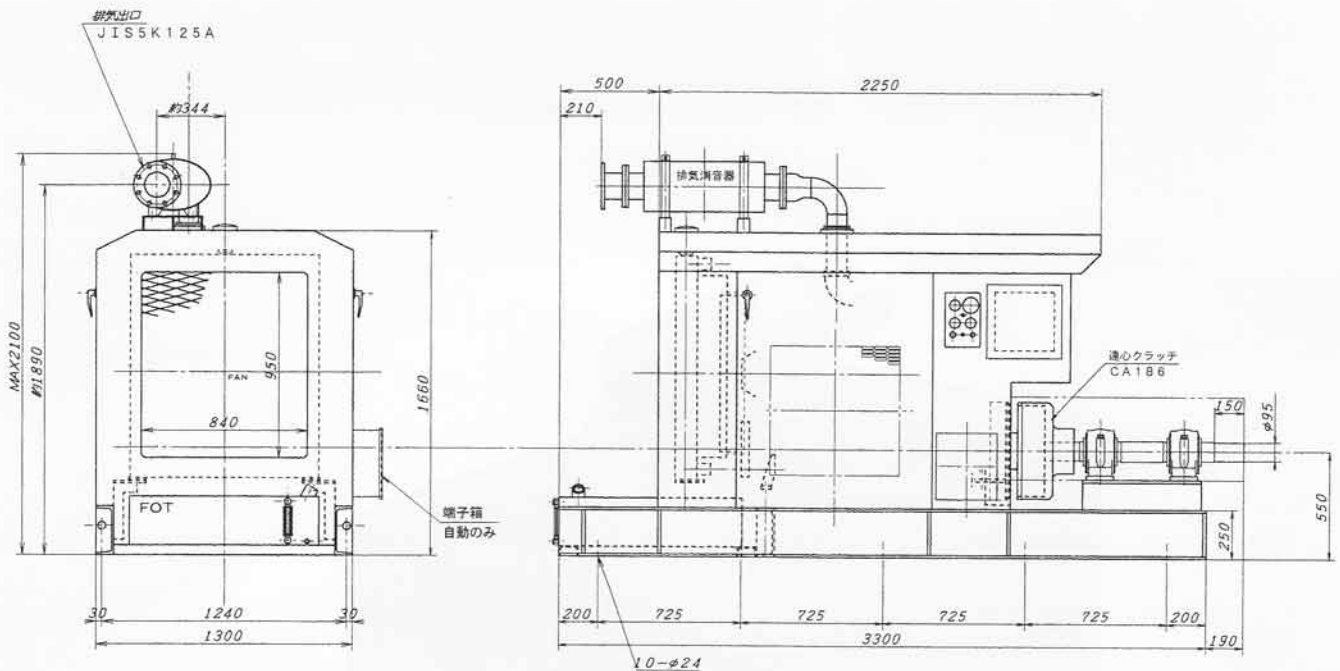
軽量コンパクト

据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本
パワーシステム事業部

SA6D125 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称	SA6D125		燃料の種類	軽油
エンジンメーカー	コマツ		燃料系統	ボッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-125×150		冷却方式	ラジエター
総排気量 L	11.04		冷却ファン	吐出φ800
圧縮比	16.8:1		冷却水ポンプ	遠心式
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水量 L(本体+ラジエター)	35
着火順序	1-5-3-6-2-4		潤滑方式	強制循環方式
非常動力装置(認定出力) (注3) KW(PS)	1500min ⁻¹	282(384)	潤滑系統	ギヤポンプ方式
	1800min ⁻¹	313(426)	潤滑油 L	40
連続定格出力 KW(PS)	—	—	オイルクーラー型式	水冷式
	1500min ⁻¹	188(256)	電気系統	始動補助装置 AC V-KW
	1800min ⁻¹	215(292)		始動電動機 V-KW
	—	—		充電発電機 V-A
	—	—		無し
定格時燃料消費量 L/Kw・hr 1500/1800min ⁻¹ 時(L/ps・hr)	約0.27 (約0.20)		バッテリー容量 V-AH	
			非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-200(2V×12ケ)
速度変動率(整定)	5%以下		一般用自動車用鉛バッテリー	24-150(12V×2ケ)
			遠心クラッチ型式(FA,CA)	186
			ドラム(負荷側取付)質量(約) Kg	87
			燃料タンク容量 L(注2)	197
			乾燥質量(約) Kg	2450

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット SA6D140B型エンジン



低燃費

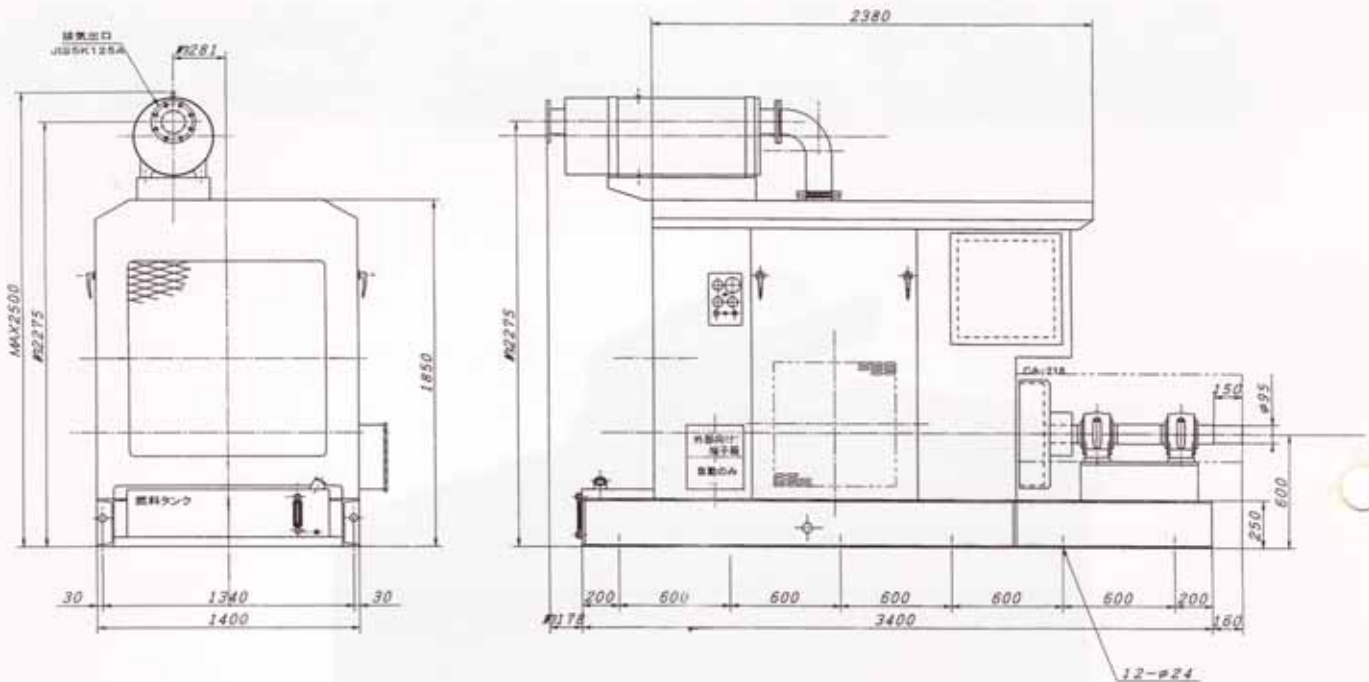
軽量コンパクト

据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本
パワーシステム事業部

SA6D140B パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称	SA6D140B		燃料	燃料の種類	軽油
エンジンメーカー	コマツ		系統	噴射ポンプ	ボッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル			ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-140×165		冷却系統	冷却方式	ラジエター
総排気量 L	15.24			冷却ファン	吐出Φ900
圧縮比	14:1			冷却水ポンプ	遠心式
回転方向(クラッチ側から見て)	左			冷却水量 L(本体+ラジエター)	66
着火順序	1-5-3-6-2-4		潤滑系統	潤滑方式	強制循環方式
非常動力装置(認定出力) (注3) KW(PS)	1500min ⁻¹	302(411)		オイルポンプ形式	ギヤポンプ方式
	1800min ⁻¹	343(466)		潤滑油 L	38
連続定格出力 KW(PS)	—	—	電気系統	オイルクーラー型式	水冷式
	1500min ⁻¹	263(357)		始動補助装置 AC V-KW	冷却水ヒーター(230-1.5)
	1800min ⁻¹	301(409)		始動電動機 V-KW	24-7.5
	—	—		充電発電機 V-A	無し
	—	—		バッテリー容量 V-AH	
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.25			非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-250 (2V×12ヶ)
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.18)			一般用自動車用鉛バッテリー	24-200 (12V×2ヶ)
速度変動率(整定)	5%以下			遠心クラッチ型式 (FA,CA)	218
				ドラム (負荷側取付質量) (約) Kg	116
				燃料タンク容量 L (注2)	197
				乾燥質量 (約) Kg	3250

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット

TD27型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

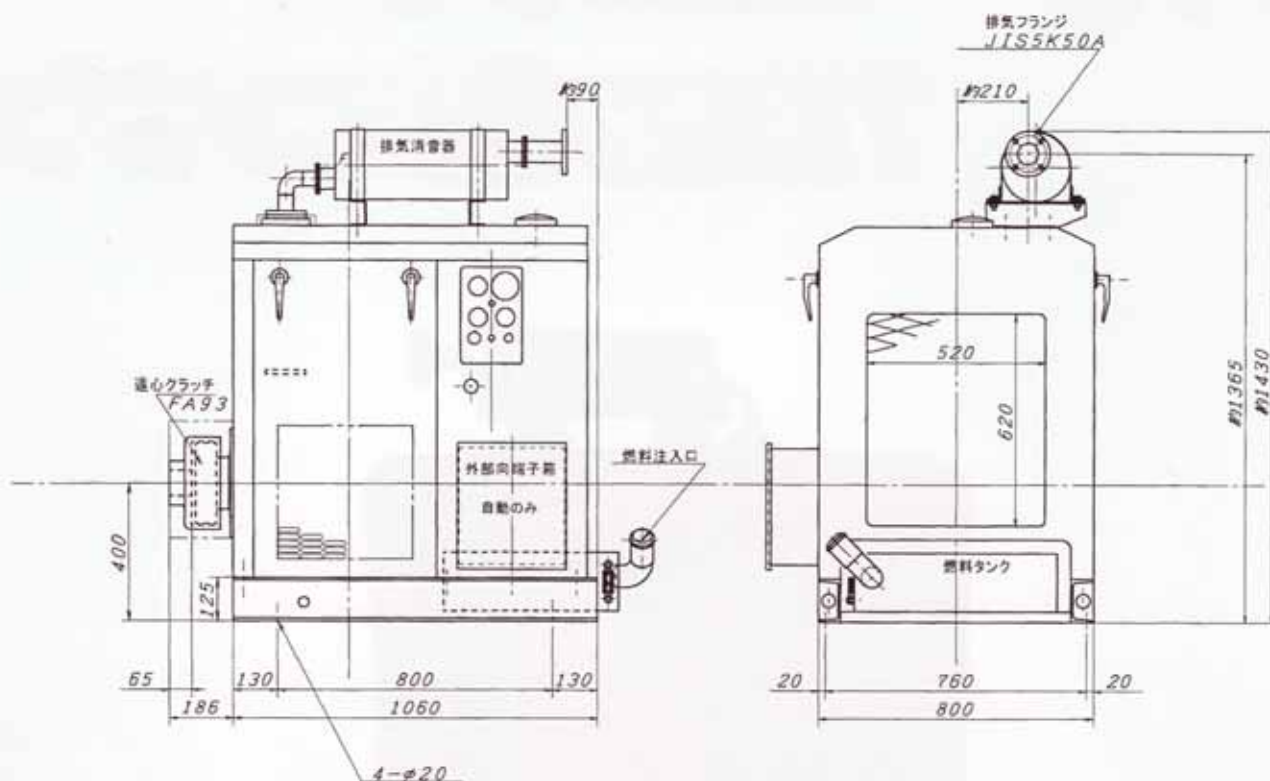
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

TD27 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称		TD27		燃料系統	燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー		日産ディーゼル工業(株)			冷却系統	噴射ポンプ
型式		4サイクル水冷頭上弁渦流室式ディーゼル		ガバナ		機械式
シリンダ数-内径×行程 mm		4-96×96		潤滑系統	タイマ	遠心式
総排気量 L		2.663			冷却方式	ラジエター
圧縮比		21.8:1		電気系統	冷却ファン	吐出φ430
回転方向(クラッチ側から見て)		左			冷却水ポンプ	遠心式
着火順序		1-3-4-2		バッテリー容量 V-AH	冷却水量 L (本体+ラジエター)	11.5
非常動力装置(認定出力) (注3) KW (PS)	1500/3000min ⁻¹	22(30)/45(61)			潤滑方式	強制循環方式
	1800/3600min ⁻¹	27(37)/51(70)		オイルポンプ形式	ギヤポンプ式	
(注4) 連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	15.5(21)		潤滑油 (Hレベル) L	10	
	1500min ⁻¹	20(27)		オイルクーラー型式	水冷式	
	1800min ⁻¹	24(33)		始動補助装置	予熱栓式	
	2200min ⁻¹	30(41)		始動電動機 V-KW	12-2.1	
	2400min ⁻¹	33(45)		充電発電機 V-A	12-35	
	—	—		電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式	
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.37		非常動力装置用HS型鉛バッテリー	12-150 (2V×6ヶ)		
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.27)		一般用自動車用鉛バッテリー	12-150 (12V×1ヶ)		
速度変動率(整定)	5%以下		遠心クラッチ型式 (FA,C)	93		
			ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	18		
			燃料タンク容量 L (注2)	43		
			乾燥質量 (約) Kg	430		

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。
 4. 3000及び3600min⁻¹仕様は別途ご相談下さい。

パワーユニット

BD30型エンジン



静かな運転

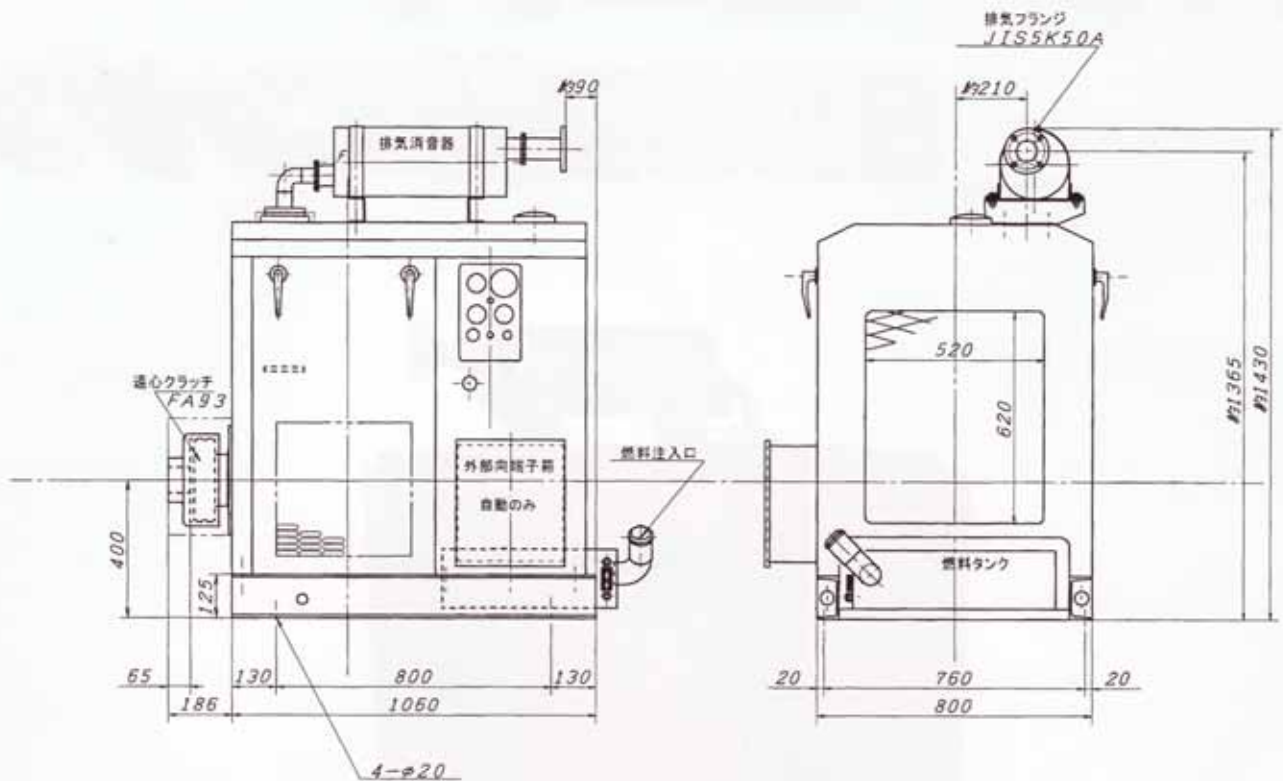
確実な始動性能

据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本
パワーシステム事業部

BD30 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称	BD30		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー	日産ディーゼル工業(株)		噴射ポンプ	ポッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	4-96×102		タイマ	遠心式
総排気量 L	2.953		冷却方式	ラジエーター
圧縮比	18.5:1		冷却ファン	吐出φ430
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水ポンプ	遠心式
着火順序	1-3-4-2		冷却水量 L (本体+ラジエーター)	12
非常動力装置(認定出力)	1500/3000min ⁻¹	25.5(35)/51(70)	潤滑方式	強制循環方式
(注3) KW (PS)	1800/3600min ⁻¹	32.5(44)/56(76)	オイルポンプ形式	ギヤポンプ式
(注4) 連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	17.5(24)	潤滑油 (Hレベル) L	10
	1500min ⁻¹	23(31)	オイルクーラー型式	水冷式
	1800min ⁻¹	29.5(40)	電気 始動補助装置	リボン式エアヒーター
	2200min ⁻¹	37(50)	始動電動機 V-KW	12-2.1
	2400min ⁻¹	39.5(54)	充電発電機 V-A	12-35
—	—	—	電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式
—	—	—	バッテリー容量 V-AH	非常動力装置用HS型鉛バッテリー
—	—	—	非常動力装置用HS型鉛バッテリー	12-150 (2V×6ケ)
—	—	—	一般用自動車用鉛バッテリー	12-150 (12V×1ケ)
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.27		遠心クラッチ型式 (FA,C)	93
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.20)		ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	18
速度変動率(整定)	5%以下		燃料タンク容量 L (注2)	43
			乾燥質量 (約) Kg	450

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。
 4. 3000及び3600min⁻¹仕様は別途ご相談下さい。

パワーユニット BD30T型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

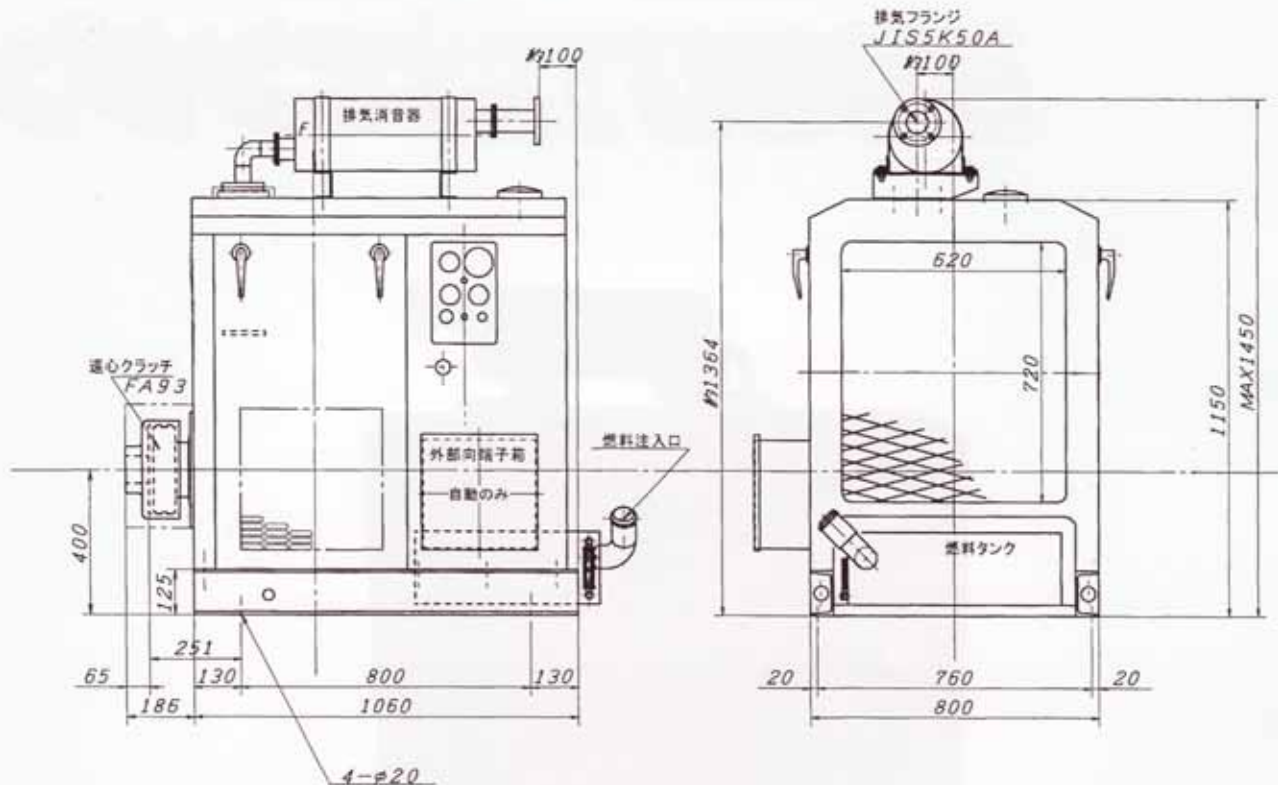
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

BD30T パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン名称		BD30T		燃料系統	燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー		日産ディーゼル工業(株)			ガバナ タイマ	噴射ポンプ
型式		4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		冷却方式		ラジエター
シリンダ数-内径×行程 mm		4-96×120		冷却ファン	吐出Φ430	
総排気量 L		2.953		冷却水ポンプ	遠心式	
圧縮比		18.5:1		冷却水量 L (本体+ラジエター)	15	
回転方向(クラッチ側から見て)		左		潤滑方式	強制循環方式	
着火順序		1-3-4-2		潤滑システム	ギヤポンプ式	
非常動力装置(認定出力)	1500/3000min ⁻¹	38(52)/72(98)		オイルポンプ形式		
	(注3) KW (PS)	48(65)/77(105)		潤滑油 (Hレベル) L	10	
(注4) 連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	23(31.5)		オイルクーラー型式	水冷式	
	1500min ⁻¹	35.5(48)		始動補助装置	リボン式エアヒーター	
	1800min ⁻¹	48(65)		始動電動機 V-KW	12-2.1	
	2200min ⁻¹	58(79)		充電発電機 V-A	12-40	
	2400min ⁻¹	62(84)		電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式	
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	約0.31 (約0.23)		バッテリー容量 V-AH		
	速度変動率(整定)	5%以下		非常動力装置用HS型鉛バッテリー	12-150 (2V×6ヶ)	
				一般用自動車用鉛バッテリー	12-150 (12V×1ヶ)	
				遠心クラッチ型式 (FA,C)	93	
				ドラム (負荷側取付) 質量(約) Kg	18	
				燃料タンク容量 L (注2)	51	
				乾燥質量 (約) Kg	500	

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。
 4. 3000及び3600min⁻¹仕様は別途ご相談下さい。

パワーユニット

FE6型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

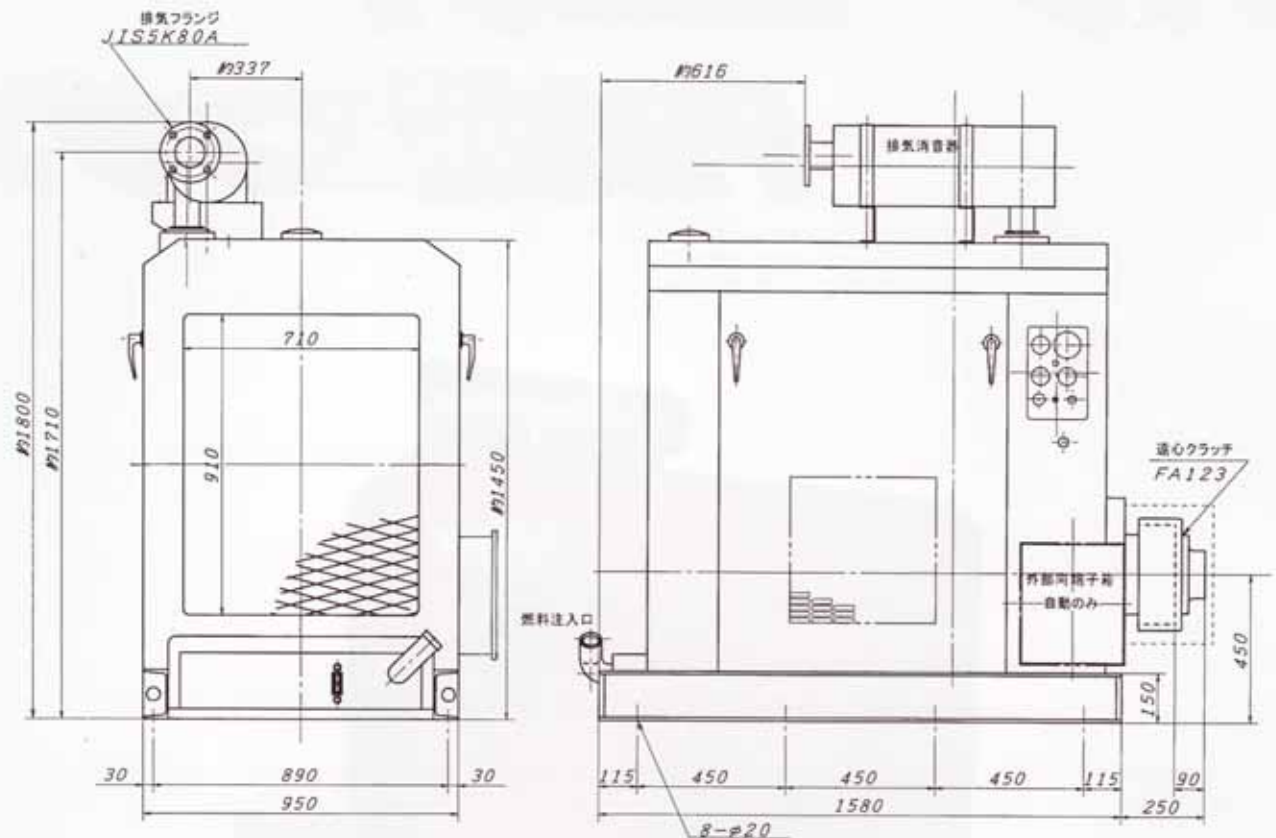
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

FE6 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン型式	FE6		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー	日産ディーゼル工業(株)		噴射ポンプ	ポッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上并 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-108×126		タイマ	遠心式
総排気量 L	6.925		冷却方式	ラジエター
圧縮比	18:1		冷却ファン	吐出Φ610
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水ポンプ	遠心式
着火順序	1-4-2-6-3-5		冷却水量 L (本体+ラジエター)	23
非常動力装置(認定出力) (注3) KW (PS)	1500min ⁻¹	66(90)	潤滑方式	強制循環方式
	1800min ⁻¹	81(110)	オイルポンプ形式	ギヤポンプ方式
連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	47(64)	潤滑油 (Hレベル) L	12
	1500min ⁻¹	60(82)	オイルクーラー型式	水冷式
	1800min ⁻¹	74(100)	始動補助装置	リボン式エアヒーター
	2200min ⁻¹	82.5(112)	始動電動機 V-KW	24-4.5
	2400min ⁻¹	89.5(122)	充電発電機 V-A	24-35
	—	—	電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.30	バッテリー容量 V-AH	非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-200 (2V×12ヶ)
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.22)		一般用自動車用鉛バッテリー	12-120 (12V×2ヶ)
速度変動率(整定)	5%以下		遠心クラッチ型式 (F.A.C)	123
			ドラム (負荷側取付質量) (約) Kg	28.5
			燃料タンク容量 L (注2)	63
			乾燥質量 (約) Kg	750

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット FE6T型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

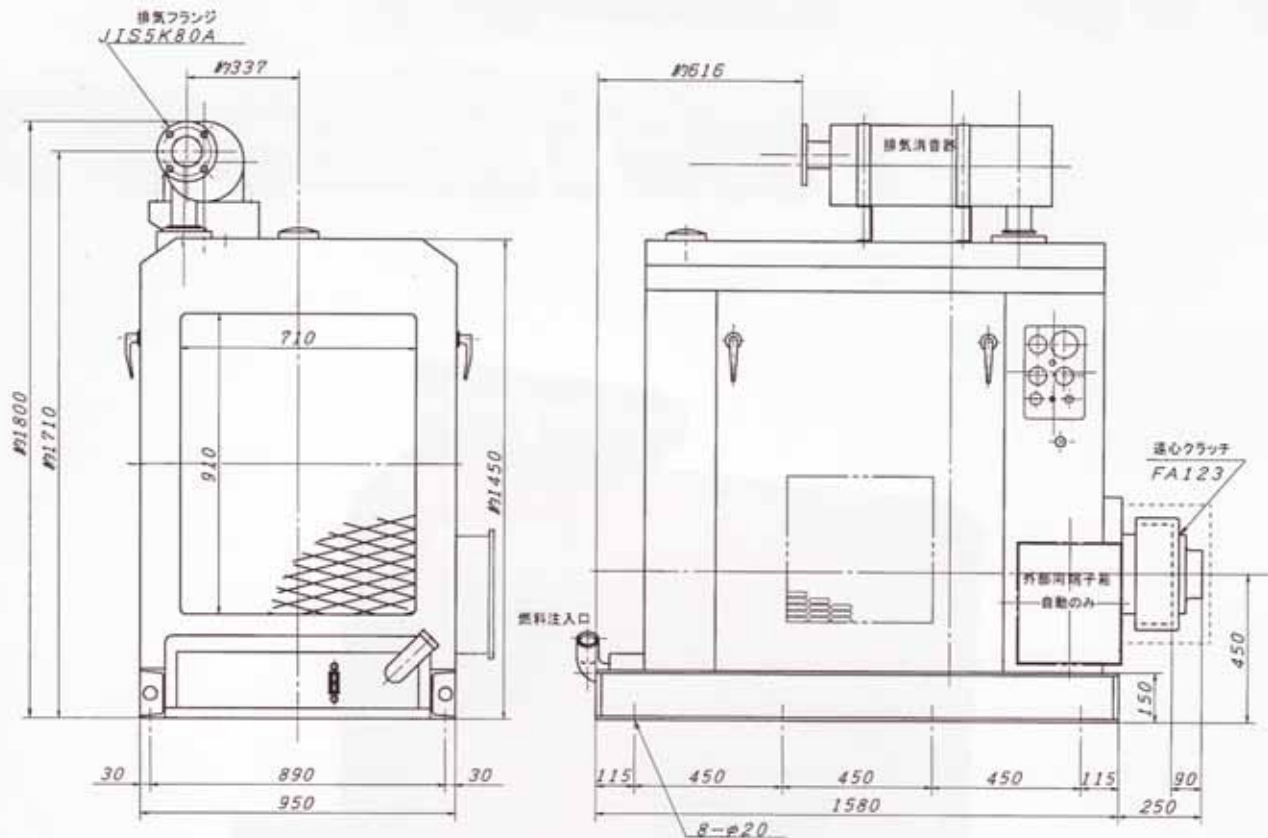
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

FE6T パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン型式	FE6T		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー	日産ディーゼル工業(株)		噴射ポンプ	ボッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-108×126		タイマ	遠心式
総排気量 L	6.925		冷却方式	ラジエター
圧縮比	17.5:1		冷却ファン	吐出Φ610
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水ポンプ	遠心式
着火順序	1-4-2-6-3-5		冷却水量 L (本体+ラジエター)	26
非常動力装置(認定出力) (注3) KW (PS)	1500min ⁻¹	87(118)	潤滑方式	強制循環方式
	1800min ⁻¹	101(137)	オイルポンプ形式	ギヤポンプ方式
連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	59.5(81)	潤滑油 (Hレベル) L	12
	1500min ⁻¹	79(107)	オイルクーラー型式	水冷式
	1800min ⁻¹	91(124)	始動補助装置	リボン式エアヒーター
	2200min ⁻¹	105(143)	始動電動機 V-KW	24-4.5
	2400min ⁻¹	110(150)	充電発電機 V-A	24-35
	—	—	電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式
定格時燃料消費量 L/Kw・hr 1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	約0.29 (約0.21)		バッテリー容量 V-AH	非常動力装置用HS型鉛バッテリー 24-200 (2V×12ヶ)
速度変動率(整定)	5%以下		一般用自動車用鉛バッテリー	12-120 (12V×2ヶ)
			遠心クラッチ型式 (FA,C)	123
			ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	28.5
			燃料タンク容量 L (注2)	63
			乾燥質量 (約) Kg	780

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット NE6T型エンジン



静かな運転

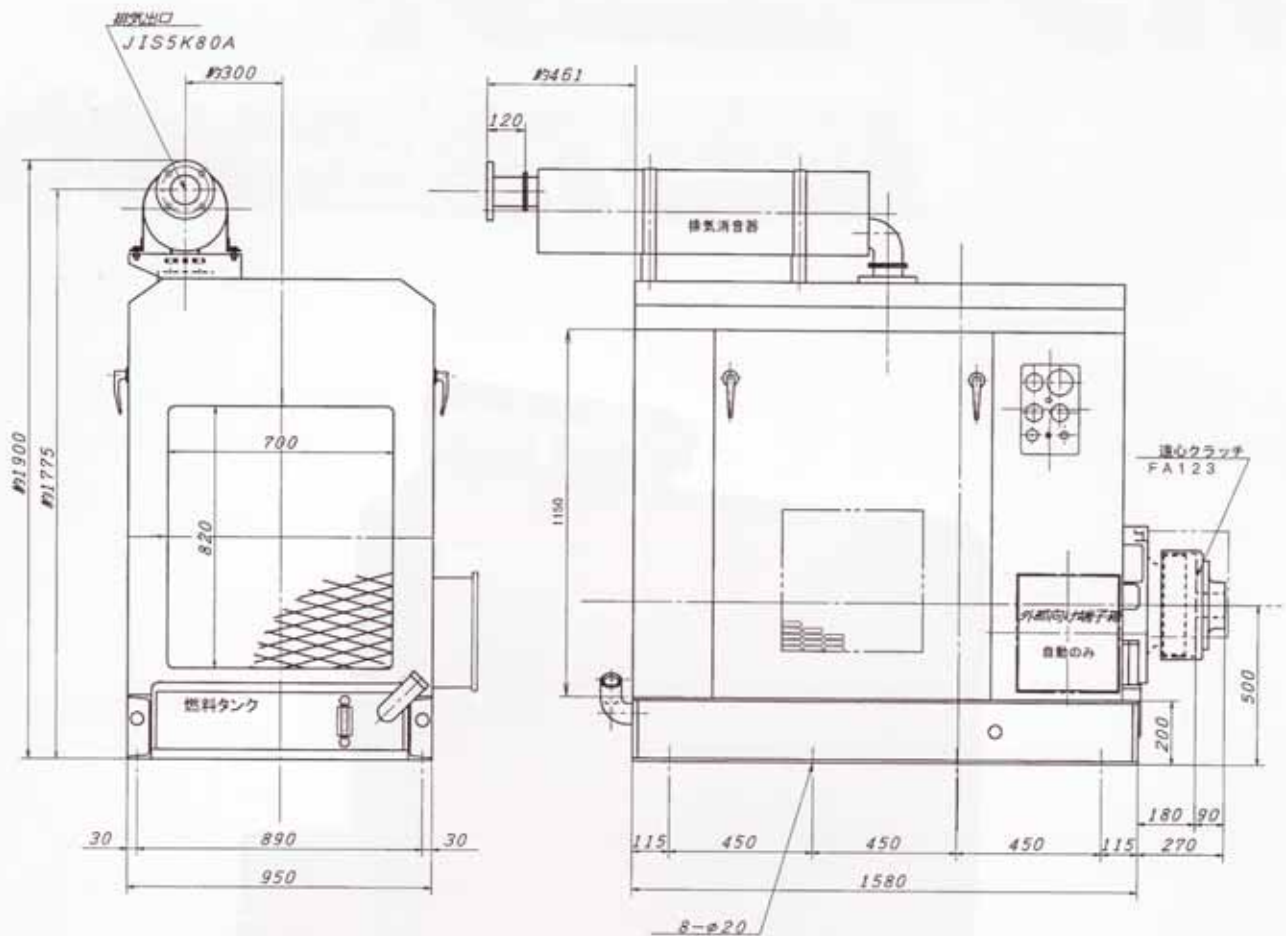
確実な始動性能

据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本
パワーシステム事業部

NE6T パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン型式	NE6T		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー	日産ディーゼル工業(株)		燃料系統	噴射ポンプ
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル			ボッシュ式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-110×130			機械式
総排気量 L	7.413			遠心式
圧縮比	17.5:1		冷却方式	ラジエター
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却ファン	吐出φ650
着火順序	1-4-2-6-3-5		冷却水ポンプ	遠心式
非常動力装置(認定出力)	1500min ⁻¹	101(138)	冷却水量 L (本体+ラジエター)	26
(注3) KW (PS)	1800min ⁻¹	118(160)	潤滑方式	強制循環方式
連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	70(90)	潤滑系システム	オイルポンプ形式
	1500min ⁻¹	92(125)		ギヤポンプ方式
	1800min ⁻¹	103(140)	潤滑油 (Hレベル) L	12
	2200min ⁻¹	119(162)	オイルクーラー型式	水冷式
	2400min ⁻¹	122(166)	電気系統	始動補助装置
	—	—		リボン式エアヒーター
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.27		始動電動機 V-KW	24-4.5
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.20)		充電発電機 V-A	24-35
速度変動率(整定)	5%以下		電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式
			バッテリー容量 V-AH	非常動力装置用HS型鉛バッテリー
				一般用自動車用鉛バッテリー
			遠心クラッチ型式 (FA.C)	24-200 (2V×12ケ)
			ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	12-120 (12V×2ケ)
			燃料タンク容量 L (注2)	123
			乾燥質量 (約) Kg	28.5
				67
				850

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット

PE6型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

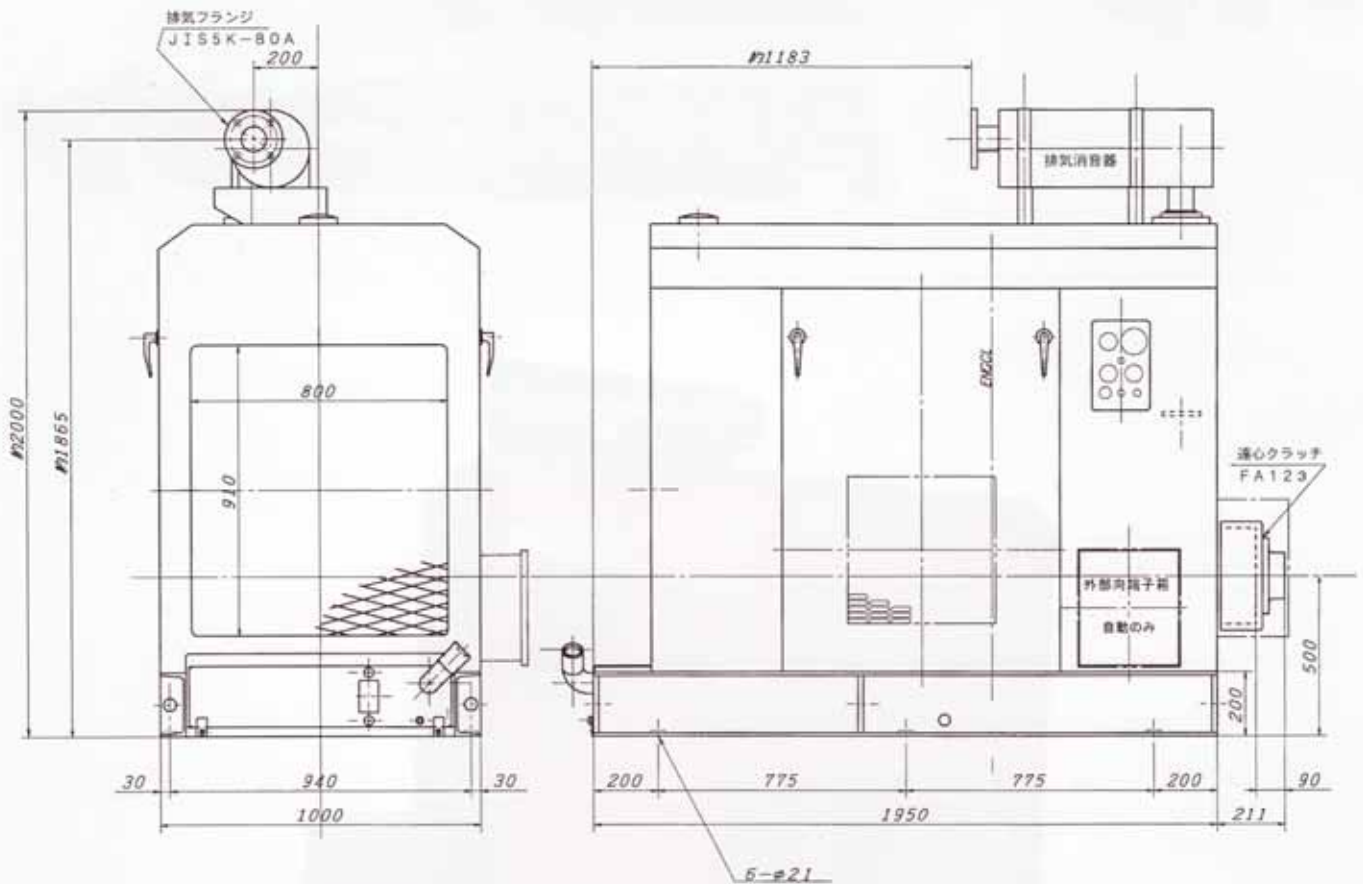
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

PE6 パワーユニット外形図



ディーゼルエンジン主要諸元

エンジン型式		PE6		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー		日産ディーゼル工業(株)		噴射ポンプ	ポッシュ式
型式		4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm		6-133×140		タイマ	遠心式
総排気量 L		11.67		冷却方式	ラジエター
圧縮比		16:1		冷却ファン	吐出 ϕ 650
回転方向(クラッチ側から見て)		左		冷却水ポンプ	遠心式
着火順序		1-4-2-6-3-5		冷却水量 L (本体+ラジエター)	38
非常動力装置(認定出力)	1500min ⁻¹	110(150)		潤滑方式	強制循環方式
	1800min ⁻¹	128(174)		オイルポンプ形式	ギヤポンプ方式
連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	79.5(108)		潤滑油 (Hレベル) L	15
	1500min ⁻¹	100(136)		オイルクーラー型式	水冷式
	1800min ⁻¹	116(158)		始動補助装置	リボン式エアヒーター
	2200min ⁻¹	126(172)		始動電動機 V-KW	24-5.5
	—	—		充電発電機 V-A	24-35
	—	—		電圧調整器型式	IC (トランジスタ) 式
定格時燃料消費量 L/Kw・hr		約0.31		バッテリー容量 V-AH	
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)		(約0.23)		非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-200 (2V×12ケ)
速度変動率(整定)		5%以下		一般用自動車用鉛バッテリー	12-150 (12V×2ケ)
				遠心クラッチ型式 (FA,C)	123or136
				ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	28.5or32.5
				燃料タンク容量 L (注2)	97
				乾燥質量 (約) Kg	1460

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

パワーユニット

PE6T型エンジン



静かな運転

確実な始動性能

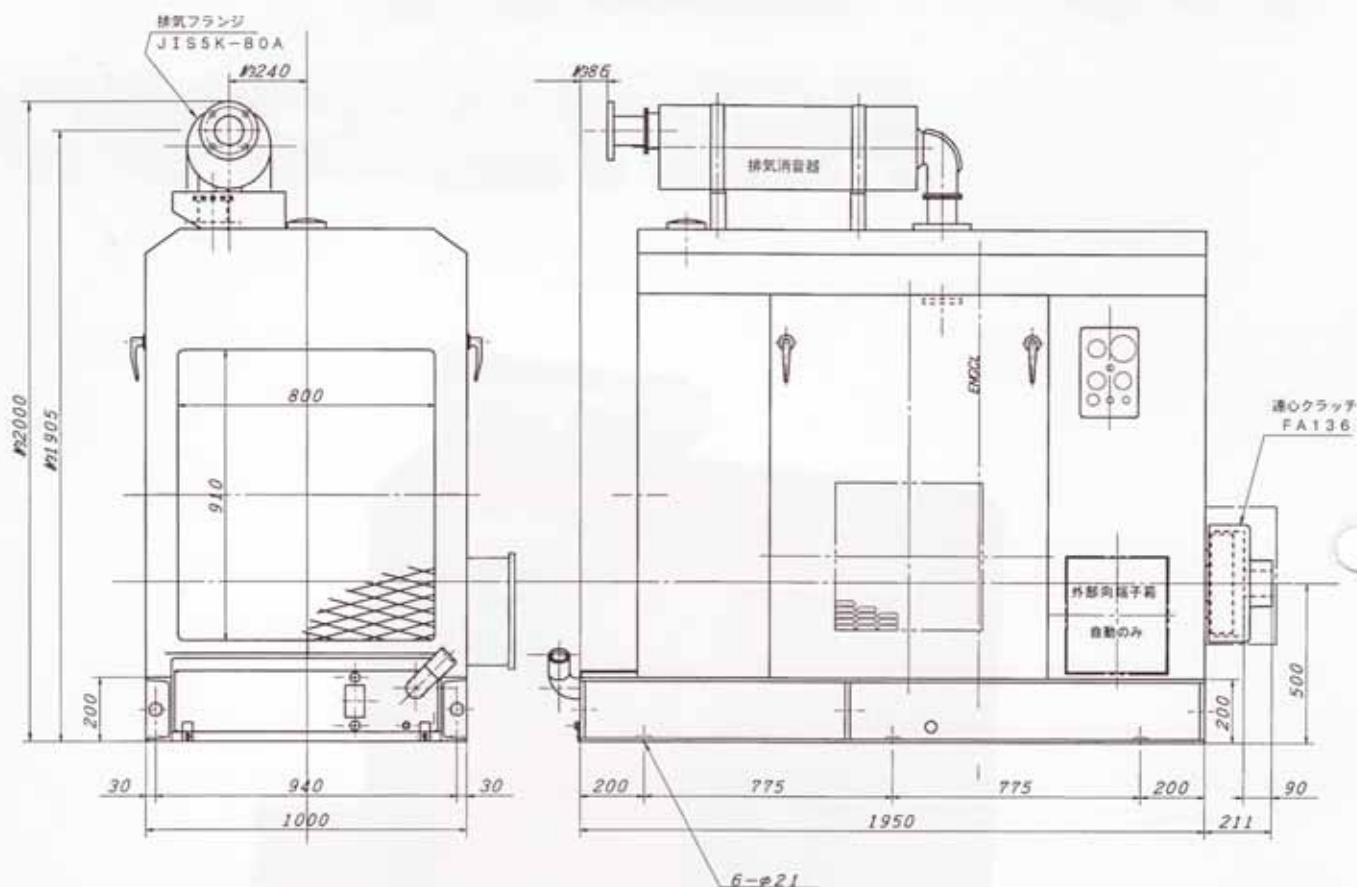
据付が簡単なユニットタイプ



株式会社アルティア橋本

パワーシステム事業部

PE6T パワーユニット外形図

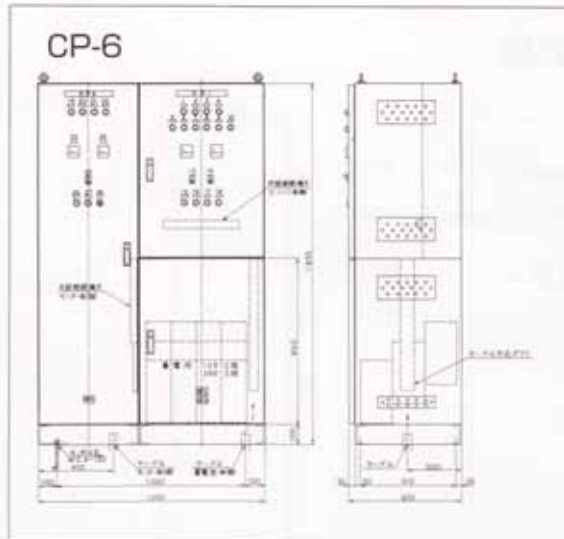
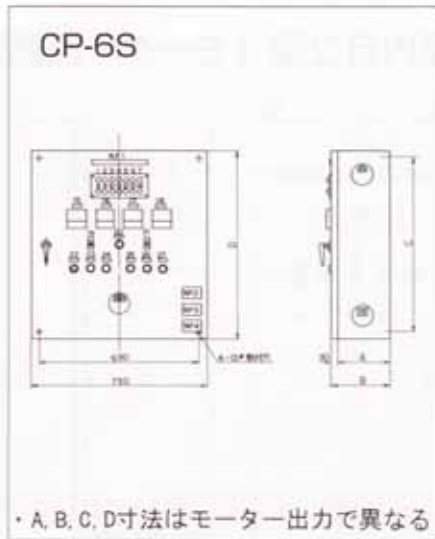
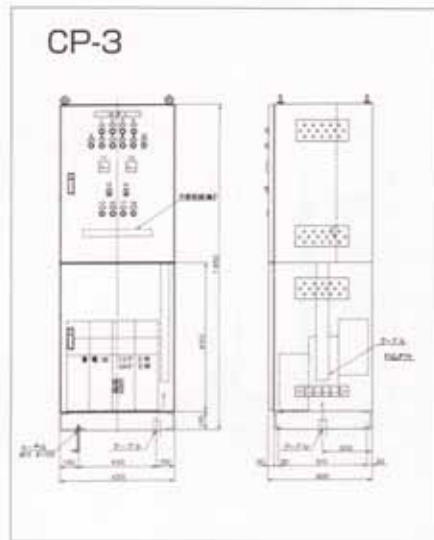
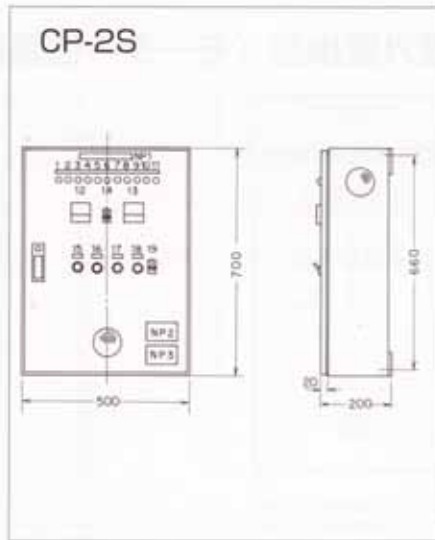


ディーゼルエンジン主要諸元

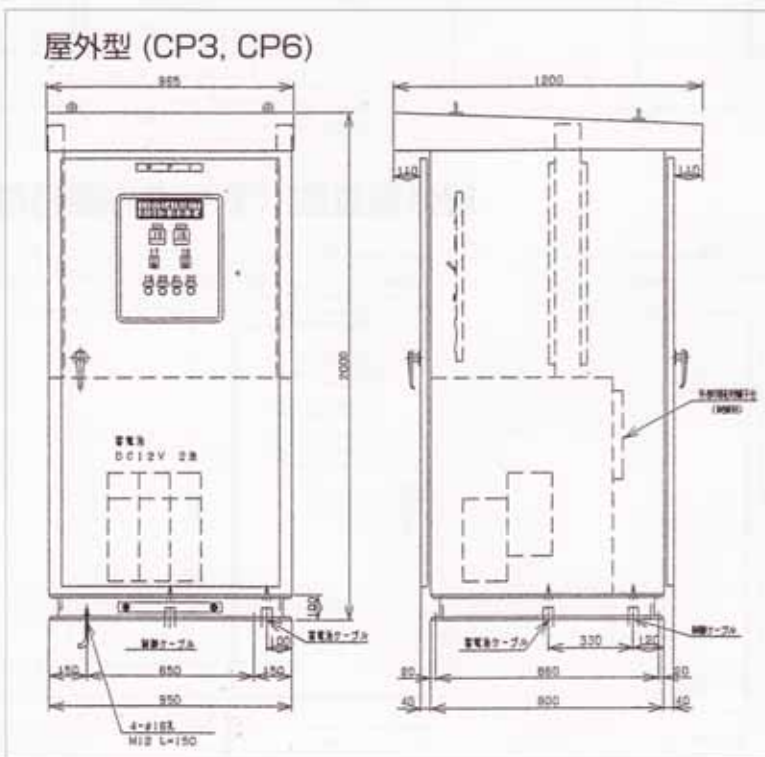
エンジン型式	PE6T		燃料の種類	軽油 (JIS 2号以上)
エンジンメーカー	日産ディーゼル工業(株)		噴射ポンプ	ボッシュ式
型式	4サイクル水冷頭上弁 直接噴射式ディーゼル		ガバナ	機械式
シリンダ数-内径×行程 mm	6-133×140		タイマ	遠心式
総排気量 L	11.67		冷却方式	ラジエーター
圧縮比	16.5:1		冷却ファン	吐出φ650
回転方向(クラッチ側から見て)	左		冷却水ポンプ	遠心式
着火順序	1-4-2-6-3-5		冷却水量 L (本体+ラジエーター)	41
非常動力装置(認定出力) (注3) KW (PS)	1500min ⁻¹	144(196)	潤滑方式	強制循環方式
	1800min ⁻¹	164(223)	オイルポンプ形式	ギヤポンプ方式
連続定格出力 KW (PS)	1200min ⁻¹	104(141)	潤滑油 (Hレベル) L	18
	1500min ⁻¹	131(178)	オイルクーラー型式	水冷式
	1800min ⁻¹	149(203)	電気系統	始動補助装置
	2200min ⁻¹	160(218)	始動電動機 V-KW	リボン式エアーヒーター
	—	—	充電発電機 V-A	24-5.5
	—	—	電圧調整器型式	24-25
定格時燃料消費量 L/Kw・hr	約0.31	バッテリー容量 V-AH	IC (トランジスタ) 式	
1500/1800min ⁻¹ 時 (L/ps・hr)	(約0.23)	非常動力装置用HS型鉛バッテリー	24-200 (2V×12ケ)	
速度変動率(整定)	5%以下	一般用自動車用鉛バッテリー	12-150 (12V×2ケ)	
		遠心クラッチ型式 (FA,C)	136	
		ドラム (負荷側取付) 質量 (約) Kg	32.5	
		燃料タンク容量 L (注2)	103	
		乾燥質量 (約) Kg	1510	

- 注) 1. 本仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。
 2. 燃料タンク容量は10%の空間容積を引いた値です。
 3. 非常動力装置は日本内燃力発電設備協会の形式認定合格品です。

自動盤外形図 (非常動力装置用)

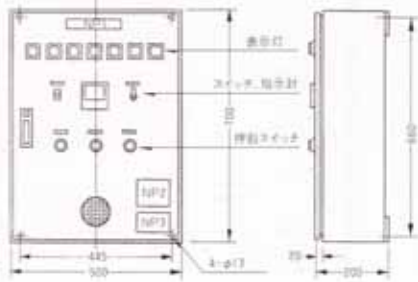


・ A, B, C, D寸法はモーター出力で異なる

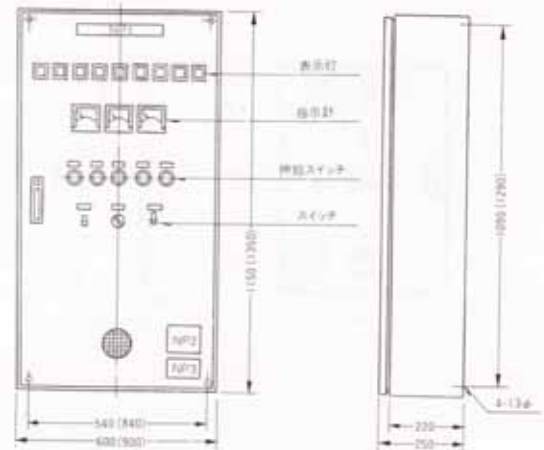


自動盤外形図 (一般用)

屋外壁掛型

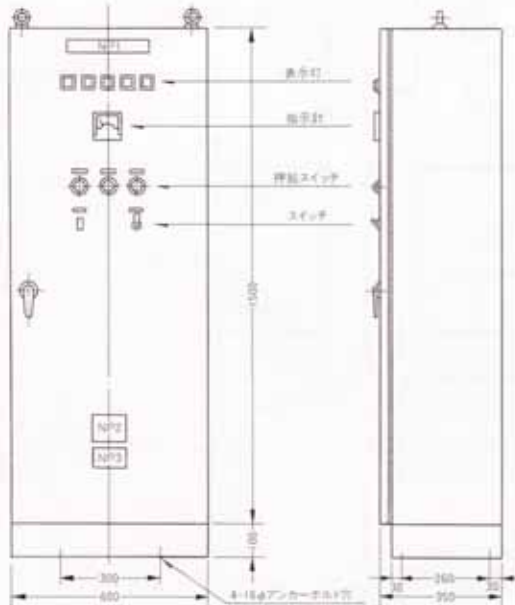


屋外壁掛型 (モーター回路付)

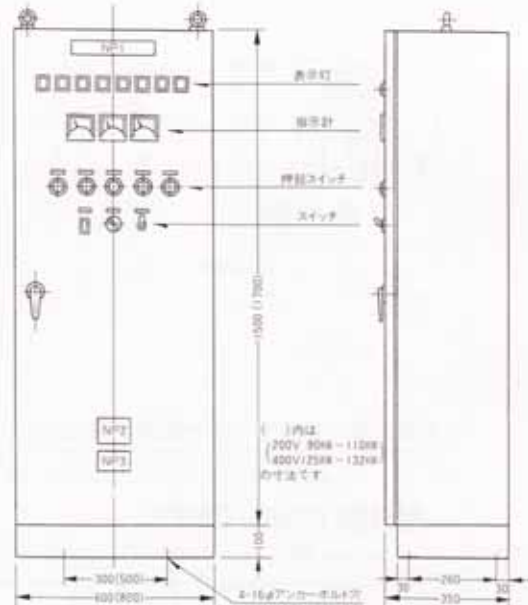


()内は 200V 55A - 75A の寸法です
 ()内は 200V 90A の寸法です

屋内自立型

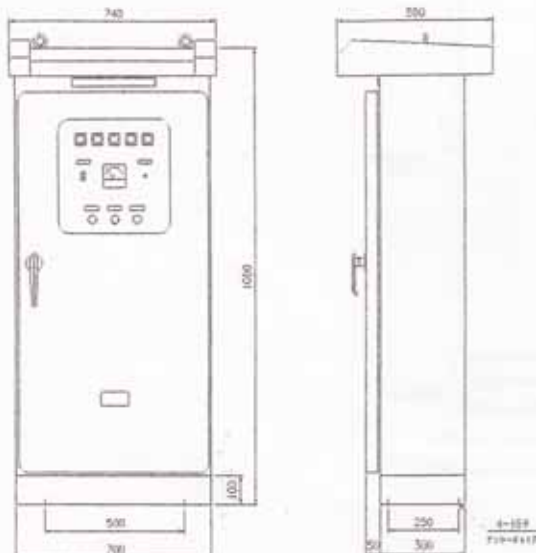


屋内自立型 (モーター回路付)

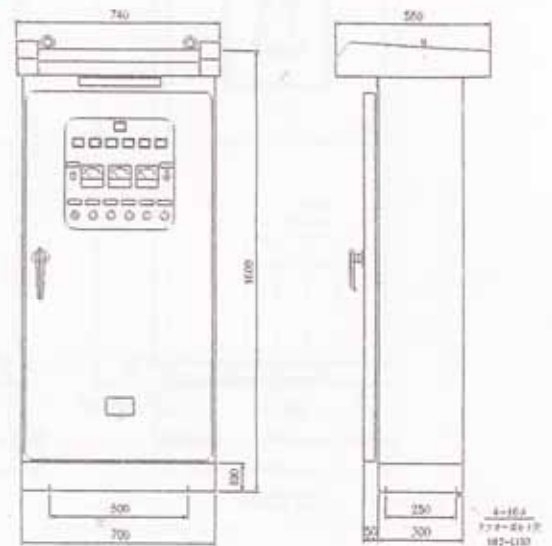


()内は 200V 90A - 110A
 400V 25A - 132A
 の寸法です

屋外自立型



屋外自立型 (モーター回路付)



()内は 200V 90A - 110A
 400V 25A - 132A
 の寸法です

資料 - 1

設置場所

- (1) 周囲の温度や湿度が異常に高い場所ではできるだけ避けること。
- (2) 点検、運転が容易にできる位置に設置すること。(装置の周囲は最低0.6m以上、また計器類の操作面は1m以上の空間を設けること。)
- (3) 水が浸水するおそれのないところに設置すること。

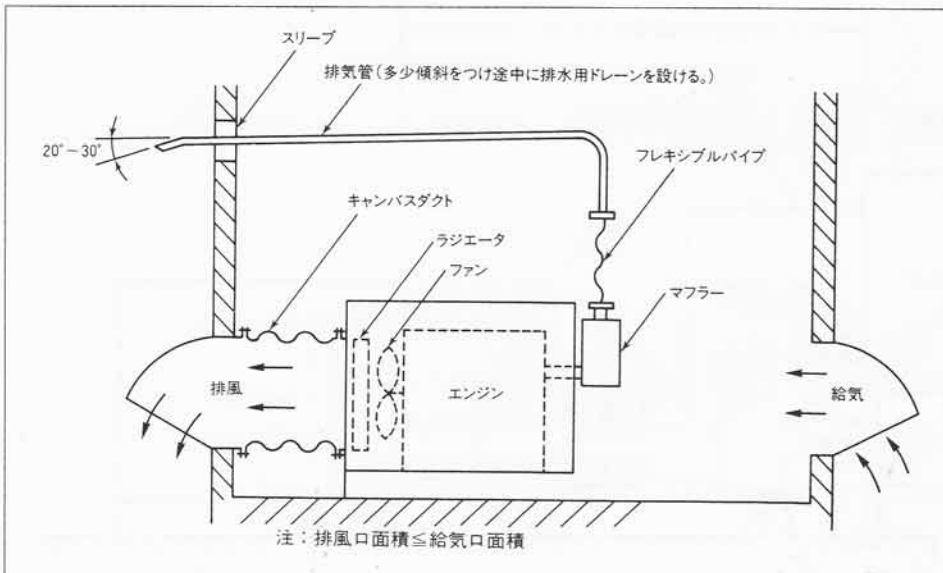
換気

換気はエンジンにとって一番大事なことです。換気が悪いとエンジン室温が高くなり、エンジン出力の低下、オーバーヒート等を招くおそれが出て来ます。室温は最高でも40℃以内に抑えて下さい。

- (1) ラジエーター冷却方式で、排風は室内へ放出する場合
室内をギャラリー2ヶ所で自然換気させる。(小型エンジン、短時間運転にしか適さない。)または換気扇(電源は非常用電源)で機会換気させる。ラジエーター前面は1.5mの空間をたもち、ギャラリーを設けること。
- (2) ラジエーター冷却方式で、排風はダクトを設けて室外へ放出する場合
室内はわずかな換気量で済みます。(自然換気程度)
- (3) 水タンク式で、常時給水し、暖まった冷却水を排出する場合
室内はわずかな換気量で済みます。((1)の1/10程度)

排気管の配管

マフラーからの排気は、排気管により屋外へ排出する必要があります。排気管は可能な限り短く、また曲げ部分が少ないことが望まれます。(配管の長さは最長で20m以下、曲げは4個以内、曲げ箇所はバンドを使用するのが望ましい。)エンジン運転中は、排気管内温度は400℃～500℃になりますので、壁の貫通部は断熱処理をし、また熱膨張やエンジン振動によるひずみを防止するため伸縮管(フレキシブルパイプ)を介した配管を考慮して下さい。



注: 排風口面積 ≤ 給気口面積

換気量

燃料の燃焼に必要な空気量

$$\text{計算式 } Q_1 = \frac{14 \times be \times \varepsilon \times kW}{60 \times \rho}$$

$$\text{概略計算 } Q_1 = 0.131 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{TDエンジン}$$
$$Q_1 = 0.092 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{BD} \sim \text{PE6Tエンジン}$$

放熱量及び室内の温度上昇抑制に必要な換気量

$$\text{計算式 } H(\text{放熱量}) = \frac{10500 \times be \times f \times kW}{60}$$

$$\text{概略計算 } H = 58.76 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{KJ}/\text{min} \cdots \text{TDエンジン}$$
$$H = 41.97 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{KJ}/\text{min} \cdots \text{BD} \sim \text{PE6Tエンジン}$$

$$\text{計算式 } Q_2 = \frac{\Delta t \times Cpv \times \rho}{H}$$

$$\text{概略計算 } Q_2 = 5.08 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{TDエンジン}$$
$$Q_2 = 3.63 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{BD} \sim \text{PE6Tエンジン}$$

必要換気量

$$\text{計算式 } Q = Q_1 + Q_2$$

$$\text{概略計算 } Q = 5.21 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{TDエンジン}$$
$$Q = 3.72 \times \text{エンジン出力(kW)} \quad \text{m}^3/\text{min} \cdots \text{BD} \sim \text{PE6Tエンジン}$$

※記号説明

be : 燃料消費率 g/kW・Hr

ε : 空気過剰率 ≈ 2

ρ : 空気密度 1.145 kg/m³ (35℃にて)

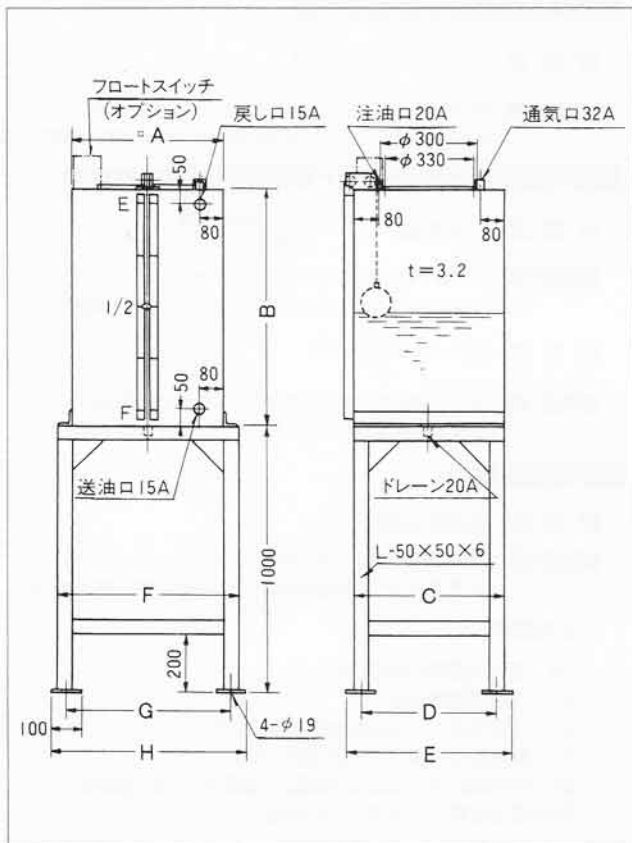
f : 熱放散損失率 0.25 (0.25 ~ 0.3)

Δt : 許容温度上昇 10deg (冷却風入口温度 30℃、出口温度 40℃)

Cpv : 定圧比熱 1.008 KJ/kg・deg

資料 - 2

別置燃料タンク式設置法



[燃料タンク]

ディーゼル機関は第2石油類(軽油)が一般的に使用され、特別仕様としてA重油でも使用できます。燃料タンク(小出槽)の容量は下記の諸条件を考慮して設置します。

●消防法による危険物貯蔵上の規制に適合すること。

消防法では、第2石油類(軽油):1,000L と規制され、これを超過して貯蔵する場合は関係規模に適合した構造にしなければなりません。

●一回当りの想定運転時間

特に非常用においては供給が充分になされない事も考えておいてください。

●使用ひん度

これ等を検討し上記の規制量を超過する場合は屋内または地下式の貯油タンクを設け、燃料移送ポンプにより小出槽に揚油するのが通例です。

寸法表

	A	B	C	D	E	F	G	H
95L	500	430	500	440	540	600	540	640
200L	550	740	550	490	590	650	590	690
300L	600	930	600	540	640	700	640	740
390L	700	890	700	640	740	800	740	840
490L	750	970	750	690	790	850	790	890

[燃料使用量]

全負荷運転時の1時間当りの燃料消費量は下記の計算式により算出されます。

$$G = b \times P \text{ (L / Hr)}$$

$$Q = \frac{be \times P}{r} \times 10^{-3} \text{ (L / Hr)}$$

※記号説明

G = 1時間当りの燃料消費量 (L / Hr)

b = 1時間1馬力当りの燃料消費量

Q = 1時間当りの燃料消費率 (L / Hr)

be = 機関の燃料消費率 (g / kW · Hr) (通常248 ~ 258 kW · Hr)

P = 燃料出力 (kW)

r = 燃料の比重 (軽油0.84)

